

スキルアップセミナー報告

令和元年9月1日言語聴覚士の日、総合南東北病院北棟 NABE ホールにて、当会の高田衣恵理事より、「機能性構音障害」について機能性構音障害の概論から、日々の臨床や評価の紹介、観察のポイントなどについてお話しして頂きました。

会員約70名が聴講し、小学校の通級指導教室の先生や、小児に携わっている方以外の参加も多くありました。



「言語聴覚士が常に一定の刺激（声掛けや対応）をすることで、違いが分かるようになる」、「発達検査をすることで親が子どもを見る力も見えてくる」など、関わりの中から推測できる症状や、臨床で工夫している点やコツなど、映像や音声を交えて講義して頂きました。



質疑応答の時間でも活発な意見交換があり、当会の山田副会長より、具体的な評価の方法や親との関わり方、自宅での接し方、宿題の内容などについてアドバイスがありました。最後まで充実した内容であり、小児に携わっている方以外でも、成人の臨床につながる面も多く、日々の臨床の視野が広がる研修会となりました。是非、多くの県士会行事に参加していただき、視野を広げ、日々の臨床のみならず、地域のみなさまからの相談に応えることのできる言語聴覚士を目指して頂ければと思います。

今後の県士会行事でお待ちしています。

広報部 大竹